

都市計画マスタープランの策定に向けて 『くまがやまちづくり 地区別ワークショップ』 を開催しました

ワークショップ開催報告 中央地域版

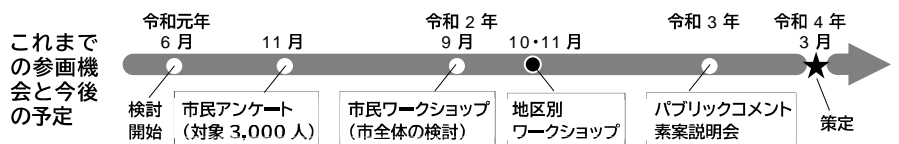
市では、都市計画やまちづくりを進めるための総合的な計画である『都市計画マスタープラン』の策定作業を進めています。将来のまちづくりに対する市民の皆さんの声を計画に反映するため、令和2年10月・11月に地区別ワークショップを開催し、延べ73名の方々に参加いただきました。この開催報告では、ワークショップの概要と市民のみなさまから頂いた意見の一部をご紹介します。

《開催日時と参加者数》

- 北部地域：令和2年10月31日(土) 妻沼中央公民館 参加者16名
- 西部地域：令和2年10月31日(土) さくらめいと 参加者19名
- ☆中央地域：令和2年11月 3日(火) 商工会館(中央) 参加者13名
- 東部地域：令和2年11月 3日(火) 商工会館(東部) 参加者14名
- 南部地域：令和2年11月 7日(土) 江南公民館 参加者11名

都市計画 マスター プランとは？

概ね20年後を目指し、都市計画やまちづくりを進めるための基本的・総合的な考え方を定める計画で、土地利用、道路・交通、環境・緑・景観、住環境、防災などの分野が対象です。



① ワークショップの検討テーマ・手順

ワークショップは以下のテーマ・手順で検討を進めました。



② 中央地域で出された主な意見

将来の地域のまちづくりを検討していただき、以下のような意見が出されました。

地域の魅力と課題は？

- 魅力
 - ・大きな病院や商業施設、公共施設がある。
 - ・スポーツ(ワイルドナイツ)やイベントも多く情報発信のチャンスがある。
 - ・自然が多く残る(荒川土手や万平公園の桜、星川)、歴史の見どころが多い
 - ・暮らしやすい(東西南北に移動しやすい、都内へのアクセスがよい、妻沼県道のバスの便数が多いなど)
 - ・学校も多く挨拶を通じて交流がある など
- 課題
 - ・空き家が多い、使える土地が少ない
 - ・商店が少ない、衰退している
 - ・都市としての魅力不足(中心部スカスカ、若者が集まる施設がない、メリハリがない、ペDESTリアンデッキがない)
 - ・荒川の災害リスク
 - ・住宅地の防犯・交通安全(街灯が少ない、道路上の電柱が交通を阻害、自転車道の整備) など

実施してほしい取組

- 魅力向上のための取組
 - ・観光の充実(情報発信の強化、観光拠点づくり、歴史活用)
 - ・地域資源を生かした個性ある飲食店づくり(オーガニック野菜、健康)
 - ・商業施設をさらに充実
 - ・清掃・美化活動のボランティア など
- 課題解決のための取組
 - ・空き家・空き店舗の仲介、リノベーション
 - ・健康まちづくり(ウォーキングコースや憩いの場整備 など)
 - ・水害対策(用水路のチェック、調整池、地形の検証)
 - ・街灯の増設、電線の地中化 など

地域の将来像

- 実現したい将来の生活(キャッチフレーズ)
 - ・人と資産がめぐるまち(空き家が少なく、利用されている)
 - ・スポーツ健康都市(福祉、医療の先進地区)
 - ・健康で災害に強いメリハリのある街(緑を増やし、暑さがこもらない)
 - ・全世代が暮らしやすい街(高齢者が憩える、都心からの移住先として選ばれる、未来を担う若者がいる、子供が安心して遊べる)
 - ・発信する熊谷！(特色ある地方都市、先端産業)

ワークショップの様子



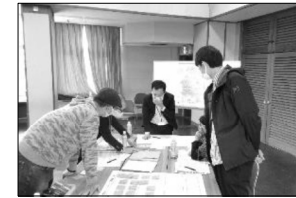
Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ